

『キリストのかおり』 コリント人への手紙第二2章12～17節 2016.2.21(礼拝説教より)

『…神に感謝します。神はいつでも、私たちを導いてキリストによる勝利の行列に加え、至る所で私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを放ってください。』 Ⅱコリント人 2:14

私たちは、どうすればキリストの香りを放つ者になれるのだろうか。◆パウロは、目の前に山ほどの問題を抱え、コリント教会の騒動のその後も気になり、自分が書いた手紙への応答もどうだったのか？…などと心配で『心に安らぎがなかった(14節)』。しかし彼は確信していた『神が常に最善に導かれる(14節)』と。その通りコリント教会は、心から悔い改めて神に立ち返った！どんなに現実が八方塞がりに見えても、心を主にに向けて喜んでいれば、神が必ず次のチャンスを開いてくださる。NHKの連続TV小説ではないが『九転び十起き』！神の最善を信じ抜く信仰者から、キリスト香りは放たれる！『主をおのれの喜びとせよ。主はあなたの願いをかなえてくださる(詩編 37:4)』。◆パウロの『勝利の行列(14節)』の背景には、ローマの凱旋行進のイメージがあった。先頭の将軍～勝利の兵士たち～戦利品の数々～そして最後尾に捕虜がとぼとぼと続く。私たちが連なる勝利の行列は、先頭に、サタンに勝利されたイエス様～信じる私たち～そして、囚われ、鎖に繋がれた悪霊どもがとぼとぼと続く。イエス様は宣言されました『あなたがたは、世にあって患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです(ヨハネ 16:33)』と。神が私たちの心に働きかけ、私たちが罪を悔い改めた時、その人自身も、神と人との関係も、健全に回復され、地域も土地も癒され(⇒Ⅱ歴代誌 7:14)、キリストの勝利の香りが放たれる。

◆ローマの凱旋時にたかれる祭司の香は、勝利者には喜びの、行進後に殺される捕虜たちには死の香りとなった。同様に福音は、信じる者には命と喜び、信じない者には滅び(神の裁き)の香りとなる。伝える者の責任は重大なのである。その『働きにふさわしい者(16節)』とは、何よりも、委ねられた福音を喜び、その赦しと救いに感動している者である。逆に、今あなたが、福音に日々感謝し、赦しに感動していないとしたら、魂が眠っているかもしれない。救いを喜び、イエス様の慰めに感動しているならば、あなたは御国への凱旋行進中なのである！キリストと共に十字架につけられ、心から悔い改めたあの強盗にキリストは『今日、あなたはわたし共にパラダイスへ…』と伝えて、即、勝利の凱旋行進に加えられた！

★今週、あなたを通して香る、イエス様の赦し、思いやり、慰めを必要としている人がおられることに気づきたい！